『大原社会問題研究所雑誌』2000年度総目次

- (1) 1992年度の総目次は,1993年5月号(No.414)を参照されたい。
- (2) 1993年度の総目次は,1994年4月号(No.425)を参照されたい。
- (3) 1994年度の総目次は,1995年7月号(No.440)を参照されたい。
- (4) 1995年度の総目次は,1996年3月号(No.448)を参照されたい。
- (5) 1996年度の総目次は,1997年3月号(No.460)を参照されたい。
- (6) 1997年度の総目次は,1998年3月号(No.472)を参照されたい。
- (7) 1998年度の総目次は,1999年3月号(No.484)を参照されたい。
- (8) 1999年度の総目次は,2000年4月号(No.497)を参照されたい。
- (9) それ以前の総目次の所在については,1992年3・4月合併号(No.400・401)を 参照されたい。

【2000年4月号 No.497】

大原社会問題研究所創立80周年・法政大学合併50周年記念

【シンポジウム】労働の規制緩和と労働組合

連合の立場から 笹森 清

全労連の立場から 坂内三夫

日経連の立場から 紀陸 孝

研究者の立場から 高梨 昌

質疑討論

論 文 韓国自動車企業の生産管理と作業組織 呉 在垣

研究ノート イギリス「国際旅団」の最後の挑戦 川成 洋

学界動向 社会構造の変動と労働問題 社会政策学会第99回大会を振り返って 長谷川義和

「グローバルな視点から見た日本の市民社会」会議について 鈴木 玲

書評と紹介 高木郁朗編『清水慎三著作集』 篠田 徹

中河伸俊著『社会問題の社会学』 野村一夫

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』1999年度総目次

所 報 1999年12月

【2000年5月号 No.498】

論 文 トヨタ生産方式と日本的生産システム 佐武弘章

日本型《労働組合主義》運動とその帰結 山垣真浩

史料紹介 「非常時共産党」の真実 加藤哲郎

書評と紹介 庄司俊作著『日本農地改革史研究』 横関 至

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2000年1月

【2000年6月号 No.499】

論 文 労働・余暇・アィデンティティ 井上雅雄

日系人労働市場のミクロ分析 丹野清人

再考横山源之助と米騒動 立花雄一

史料紹介 日本社会主義者とコミンテルン・アムステルダム・サブビューローとの通信,1919~1920年

山内昭人

書評と紹介 工藤幸男著『日本とILO』 岩瀬 孝

平塚真樹編『労働者協同組合で働く青年たち』 小関隆志

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2000年2月

【2000年7月号 No.500】

【500号記念特集】労働問題研究の現在 1980~2000年(1)

労働とジェンダー 木本喜美子

労働市場 野村正實

労働者協同組合 小関隆志

書評と紹介 J. Boston, et al., (eds.) Redesigning the Welfare State in New Zealand: Problems,

Policies, Prospects 武内砂由美

鈴木良平著『アイルランド問題とは何か』 川成 洋

人事院創立50周年記念セミナー報告書『フランスENA官僚の実像』 佐伯哲朗

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』(第402~500号)総目次

所 報 2000年3月

【2000年8月号 No.501】

特集 労働問題研究の現在 1980~2000年(2)

賃金 遠藤公嗣

非正規雇用 伍賀一道

社会保障の研究史 高藤 昭

書評と紹介 山田陽一著『ODAとNGO』 初岡昌一郎

角瀬保雄・川口清史編著『非営利・協同組織の経営』 三枝麻由美

権上康男著『フランス資本主義と中央銀行』 佐伯哲朗

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2000年4月

【2000年9月号 No.502】

論 文 「労働の人間化としての職務設計」の基礎 庄村 長

イギリスにおける賃金審議会の廃止と全国最低賃金制度の導入 田口典男

調査報告 電機企業の技術者の職務と人事管理 市原 博

書評と紹介 リチャード・ウェーランほか著/高田ゆみ子訳『ロバート・キャパ スペイン内戦』

川成 洋

成澤むつ子著『自立の開拓者丸岡秀子』/寺澤正著『三代の男たちと丸岡秀子』 松尾純子 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2000年5月

【2000年10月号 No.503】

論 文 知的熟練論の実証的根拠 野村正實

学会動向 自己選択と共同性 20世紀の労働と福祉 社会政策学会第100回大会を振り返って 長谷川義和 書評と紹介 石川准・長瀬修編著『障害学への招待』 岩崎晋也

色摩力夫著『フランコ スペイン現代史の迷路』 川成 洋

林宥一著『「無産階級」の時代』 梅田俊英

社会政策学会会員業績一覧 社会政策学会

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2000年6月

【2000年11月号 No.504】

特集 労働問題研究の現在 1980~2000年(3)

労働組合 井上雅雄

中小企業の労働問題 猿田正機

論 文 公共部門における労働組合の競合 フランソワ・シマー

書評と紹介 三富紀敬著『イギリスの在宅介護者』 堀越栄子

財団法人 日本ILO協会編『講座 ILO(国際労働機関)』 早川征一郎

田沼 肇先生のご逝去を悼む 五十嵐仁

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2000年7月

【2000年12月号 No.505】

論 文 ゼーハイマー・クライスと90年代のドイツ社会民主党 小野 一

ドイツ労働者書記局における法と運動 岩佐卓也

研究ノート 1930年代前半期フランスの財政危機とデフレ政策 佐伯哲朗

書評と紹介 大山 博・炭谷 茂・武川正吾・平岡公一編著『福祉国家への視座』 埋橋孝文

早川征一郎著『国家公務員の昇進・キャリア形成』 猪木武徳

M. H. Gibbs, Struggle and Purpose in Postwar Japanese Unionism 鈴木 玲

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

法政大学大原社会問題研究所1999年度の歩み

所 報 2000年8月

【2001年1月号 No.506】

論 文 都市,貧困,住民組織:韓国経済発展の裏側 五石敬路

人事管理と雇用平等法制度 片岡洋子

史料紹介 在墨片山潜の書簡と草稿類,1921年 山内昭人

書評と紹介 中村健之介他編訳『宣教師ニコライの日記抄』 川成 洋

賀川豊彦記念講座委員会編『賀川豊彦から見た現代』 横関 至

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2000年9月

【2001年2月号 No.507】

特集 労働問題研究の現在 1980~2000年(4)

人事労務管理 橋元秀一

労使関係 鈴木 玲

論 文 労働条件は職務意識を決定する主要因か? 清川雪彦/関 権/高田 誠

書評と紹介 岩井浩・福島利夫・藤岡光夫編著『現代の労働・生活と統計』 三富紀敬

法政大学大原社会問題研究所編『証言 産別会議の運動』 栗木安延

中野隆生著『プラーグ街の住民たち』 佐伯哲朗

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2000年10月

【2001年3月号 No.508】

【国際労働問題シンポジウム】

母性保護の国際的基準 ILO母性保護条約・勧告の改定をめぐって

ILOにおける審議をめぐって 足利聖治

労働者の立場から 高島順子

使用者の立場から 鈴木重也

ILO基準と日本の母性保護制度 木村愛子

質疑応答

参考資料 Convention 183 Recommendation 191 1952年の母性保護条約(改正)に関する改正条約(第183号)(仮訳) 1952年の母性保護に関する勧告の改正勧告(第191号)(仮訳) 連合資料「ILOの母性保護条約・勧告改定審議結果」 2000年母性保護条約・勧告採決結果

書評と紹介 平井陽一著『三池争議』 戸木田嘉久

平英美 / 中河伸俊編『構築主義の社会学』 野村一夫

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2000年11月

◉七月の沖縄サミットに対抗すべくアジアを含む第一線の論者・運動家による沖縄の現状 琉球弧の精神世界 宇井純・長元朝浩・由井晶子・安次富治・安里英子・川音勉・喜納昌吉・高良勉・川満信一他教筆武者小路公秀・伊藤成彦・滝田賢治・星野智・高橋誠・高作正博・殷燕軍・李元徳・新崎盛暉・アソシエ』編集(委員会・編 アソシエⅡ ●経済改革下の雇用・分配関係の変化と企業内共産党組織の実態 ●ドイツ信託庁による旧東独国有企業の民営化過程の検証 世界システムの 基軸通貨ポンドの盛衰史を機密文書から描く 構造を工業経済の支配的形態たるコンビナート分析から考察。経済システムと企業構造の観点から旧東独の経済改革過程・1村 喜義著 A5判・三一〇頁・五二〇〇円 中央銀行の金・為替操作の実態とその政策意義と限界に迫る。基軸通貨ポンドの信認をいかに保持しようとしたのか英・米は漢書・大の寛・一〇五〇〇円を持ち、 与し、絶えずその姿を変えていく根底そのものを考えてい・資本主義の性格と運動のメカニズムの歴史的変化の諸相を**道 雄著** 、企業の経営管理方式を規定する労使関係上の要因に迫る。営と労使関係統轄機能を備える企業内共産党の実態を踏ま、生著 45判・四七〇頁・ハ二〇〇円 生著の事例〈一九五〇年代 弧の発信 体制の崩壊と再建の政治経済過程 『が得たもの失ったものは何かアジアを視点に考える自立への道筋。の。光信一―の島々から 高良 勉著/二六〇〇円+税 April 2000 から琉球弧が発信する未来的な価値の体系が浮かび上がる。 義 沖縄県伊良部町における南方 カツオ漁業研究による「水産社会学」の確立を目指して なかの沖縄 経営と労使 九三〇年代の基軸通貨の試練 安里英子著/二四〇〇円+税 鋼 八〇〇円 〒113-0033 東京都文京区本郷5-30-20 ▶価格は税別 ◀電話03(5684)0751/E-mail:publish@mb.infoweb.ne.jp